

OCHISがオムロンと共同で

SASと血圧の相関を調査

運輸業界従事者の健康

を推進して健康起因事故

の防止を図るNPO法人

ヘルスケアネットワーク

(OCHIS、理事長・

武田裕大阪大学名誉教

授)はこのほど、オムロ

ンヘルスケアと共同研究

した睡眠時無呼吸症候群

(SAS)と高血圧の相

関について結果を公表し

た。

これによると、睡眠時

の血圧とSASとは有意

な関連性は認められな

かったものの、SAS陽性

者は起床時の血圧が高

く、循環器の疾患に注意

を要することから今後は

起床時血圧に着目した対

応が求められるとした。

調査研究は、昨年5月

から10月までの間に男性

トラック運転者21人の協

力を得て、手首式血圧計

と、パルスオキシメーター

を同時に装着し、3日間

測定した。対象者はSA

S陽性者10人、陰性者11

人で、SAS判定結果に

基づいて生活習慣、既往

歴などを比較するととも

に、睡眠中の血圧と血中

酸素濃度、心拍数を同時

に測定した。

有効データはSAS陽

性者7人(平均年齢42・

9歳)と陰性者7人(同

41・1歳)の計14人だっ

た。

調査結果によると、S

A S陽性者は陰性者に比

べて中途覚醒が多く、B

M I(肥満指数)が高い。

さらに高血圧、糖尿病の

疾患を持ち、飲酒習慣者

が多く、睡眠時、起床時

とも血圧が高かった。

睡眠中の血圧は、通常

低く推移するが、SAS

で睡眠中に呼吸が止まる

と、体内に酸素が取り入

れられなくなり、体に酸

素が不足すると、もっと

酸素を取り入れようとす

て心臓が血液を多く流そ

動が多くなり血圧を急上

昇させる。また起床時の

血圧は、自律神経が不安

定になって急上昇する

「血圧サージ」が起きや

すい。早朝に脳梗塞、脳

出血にもつながるケース

がある。

OCHISでは、SA

Sが睡眠中や起床時の血

圧に影響している観点に

立って、健康起因事故対

策の新たな対応策として

研究を進めていく。